

「地震予測コンテスト」(例示案)

地震予測コンテスト委員会(仮称)

最も地震の予測が正しかった者に賞状を授与します。

○選考方式は予測原則の3種で競う。

- | | | | |
|---|-------------|-----------|-------------|
| 1 | 地震の発生時間(いつ) | 60分迄は | 1000点 |
| | 減点方式で、 | 1時間超毎に | 10点(-10×時間) |
| 2 | 地震の場所(どこで) | 10Km迄 | 1000点 |
| | 減点方式で、 | 10Km超毎に | 100点(同上要領) |
| 3 | 地震の規模(大きさ) | Mと震度の合算 | 1000点 |
| | (マグニチュード式) | M 0.1迄 | 500点 |
| | 減点方式 | M 0.1超毎に | -25点 |
| | (震度方式) | 震度 0.1迄 | 500点 |
| | 減点方式 | 震度 0.1超毎に | -25点 |

○特記(コンテストの概要、細目は別に定める。下記は例示です。)

- 1 コンテストは緊急地震警報が発令され震度5以上の地震を計数する。
- 2 1回の持点は3千点で不足分は-3千点迄、予測無しや該当無しは-3千点とする。
- 3 毎年4月1日から3月31日迄とし、翌年度の学会場等で優秀者を表彰する。

「コンテストが今、何故？ 必要なのか！」

地震の予知はできないと国民が諦めかけています。しかし、地震予知は国民にとって必要不可欠な最重要課題です。

そこで、国民に地震防災への関心を集めるためコンテストを行って、国民的ブームを起こしながら、総力を挙げて最も困難な「地震予知」という大問題を解決します。

コンテストのメリットは？

- 1 全国的に地震予測が注目され「地震ブーム」が起きる。
- 2 地震予測の「アイデア」が集まり研究者が増える。
- 3 「地震防災の啓発」となり「最も安く研究開発」ができる。

コンテストのデメリットは？

- 1 コンテスト事務が必要なので、学会事務局等に委託する。
- 2 報償費が必要

コンテスト委員会のメンバーは？

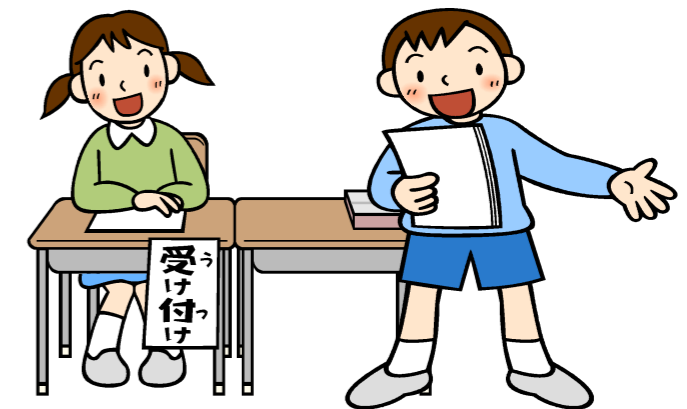
- 1 総務省、文部科学省
- 2 地震学会、JGU等学会
- 3 知識人 以上7名程度

コンテスト委員会（仮称）

{ 大事な事 = 研究費の費用弁償 }

地震の予測研究を行うには（個人的や民間団体では無理がある）

- 1 上記コンテストで上位に選ばれた団体等は、地震観測や予測情報の提供に必要な研究費用が弁償される。
- 2 コンテストで良好な成績を残した団体には、「補助金」として研究費が補助される。ただし、常に観測データ等を報告する義務がある。
- 3 研究や開発への人材を育成するため、簡単な申請で参加できる、新規の研究開発枠を設ける。



（参考）新しい研究開発を促進するため学会等で特別プレゼンを行って、優秀な研究開発案には必要な予算措置を取るよう国に助言する。

{地震を科学し予測する方法}

地震の予測を実現するには（震度5強以上の地震を主とする。）

1 震源地の状況が把握できれば予測は可能であるが、通常は震源の深さが10Km~30Km以上と深く物理的に把握が困難です。

- (1) 震源は地殻の中、地下数十kmが多く掘削技術も無く、現在の科学技術では調査が困難です。
- (2) 震源域の地中は、地下約3Kmで水が沸騰する程熱くなり、約30Kmになれば約一千度の高温となり、圧力は数千気圧という全く想像を絶する世界なので把握は困難です。

2 「しかし！」地震と関連する明確な兆候さえ判れば予測は可能！ただし、地震の3要素迄明確に表す必要がある。

- (1) 宏観異常現象として多くの報告や証言があります。
- (2) 現在は、携帯電話のスマホやSNS等で、画像等や文字データを簡単に送受信できるので、検証や再現



性の確保が簡単になりました。そこで「目の前の状況を生の観測情報」として情報センター(仮称)に送ればビッグデータとして活用できるのです。

- (3) 地震の前兆には「電磁気的な証言」が多く大学他別の研究機関でも、地震との関連付けが簡単で経験的ないとして多くのデータが集積されています。全国的な観測網ができれば観測情報として活用ができます。

3 地震が起きるシグナルが判れば予測は可能

- (1) カラス、鳥、魚、犬猫、ミミズなど、動物等が感じる事ができる現象ならば、高感度なセンサーを開発すれば地震のシグナルとして活用可能です。
- (2) 震源の状況は、震源に近い所で観測するのがベターですが、地中観測技術の開発によって可能となり、解析技術の高度化によって把握が可能となります。

今、日本に一番必要な施策は「予測研究に必要な予算措置」です。